

11月〈霜月〉：実りへの感謝と来年もと祈念する…

9日・19日

いなり様のはつくにち・なかくにち



献立 天ぷら(菊の花・しいたけ・かぼちゃ・さつまいも・人参・ごぼう・大葉)・油揚げ

いわれ 百姓の神様で、一年間の収穫に感謝し、来年の豊作もお願いをした。

11月〈霜月〉

24日

● ● お太子さん(おだいしさん) ● ●



献立 うきうき団子・漬け物

いわれ お太子様の年取り。子どもがたくさんいて、貧乏なため早く春が来るように一ヶ月早く年をとらせた。
塩を買いに出掛け、吹雪で凍死した事から、おでし荒れと言って、この日は必ず荒れた日になった。

29日

● ● いなり様のすえくにち ● ●



献立 餅・天ぶら(菊の花・しいたけ・かぼちゃ・さつまいも・人参・ごぼう・大葉)・油揚げ

いわれ 苦をのがれると言って、「くにち餅は橋の下のほいども食う」といわれ、誰もが必ず餅を食べた。

● ● おだの神様 ● ●



献立 お供え・お頭付き魚(さんまなど)

いわれ 田の神様で、家々で収穫を終えた田んぼに感謝をした。神様は、くにち餅を蛙に背負わせて山に帰るといわれている。

下旬

庭払い(こきあげ)



献立 だらくれ餅・手打ちそば・とり肉汁・ぜんまいの油炒め・赤飯・煮豆(ささげ豆)・煮しめ(たけのこ・ふき・舞茸・わらび)・酢の物(切り干し大根)・漬け物(高菜)

いわれ 農家の一年間の仕事収めで、収穫に感謝する一番の御馳走。餅はとくに御馳走で、餅米がない時はくず米を粉にした。寒ざらし粉はとり粉にした。

窯祝い



献立 御頭付き魚二匹(いわしなど)

いわれ 炭焼き窯をつくった時、窯のはちが落ちない様に酒を神様にあげ、お祝いをした。また、無事に一山の炭焼きが終了できる事も願った。